

甘楽町広報

昭和37年7月15日 (毎月15日発行) 第34号ほか号外2【1頁】

一、固定資産税 第二期
二、水稲共済掛金 全額

7月1日の人口と世帯
人口 14,659人
男 7,085
女 7,574
世帯数 2,686戸

発行所 群馬県甘楽郡甘楽町大字小幡852
甘楽町役場
電話(小幡)4番・44番・626番
編集 総務課 広報係
印刷所 坂本印刷株式会社

新屋小学校の増築

十一月末完成をめざし着工

新屋小学校の増築工事が、七月一日から始まりました。この新屋小学校は、中学校の統合によって空校となった旧新屋中学校跡ですが、このため教室数がたりず、増築が急がれていたものです。

工事費は六
百三十万円

宮沢建設が落札

そこで、普通教室二、昇降口防火壁計七七・九坪の増築と、普通教室三、音楽室一計一〇坪の移築を、三十七年度事業として行なうことになりました。このうち移築といものは、旧新屋小の校舎のいちばん新しい部分を取りこわして、建てなお

の面から効果的であるといことが大多数の意見となり、これが、皆さんの協力でも実現したわけですね。ところが、旧中学校舎を小学校に使うには、どうしても教室が足りません。そこで、増築することになったのです。

六月二十五日に役場で、この会社が、いくらで工事を請け負ってくれるか、入札会を開きました。この入札会に参加した建築会社は、信沢工業(高崎)宮沢建設(吉井)、佐田建設(前橋)、井上工業(高崎)です。この四社が、数回に及ぶ競争入

参議院選挙おわる

今後は公約実現に期待

参議院議員選挙は、私たち国民の公正な投票で裁断がくだされ、いろいろの立場からの私たちが国民の代表が国会に送られることになりました。そして、今後、六年間の任期中に、私たちの生活を豊かにし、日本の国をさらに進歩させるための政治に、努力して下さることにになりました。

今回の参議院議員選挙で勝利をあげた議員は、百二十七人で、福島保育園を笹(ささ)の森稲荷神社境内に移転するため、四月十九日から同境内に、園舎の建築がすすまられていました。が、六月十八日に完成し、二十日から保育を開始しました。

投票率伸びて八一%強

最高は十区、最低は十八区

私たち国民の公正な裁断が下されたといつても、国全体では有権者の六二%強、県では七二%強の人たちの投票によつてなされたわけで、残りの人たちは(一部をのぞいて)、自分たちの代表を選ぶのに、あまり関心がなかつたということになるのではありませんか。

七月一日(投票日)の当町の有権者数は八千七百七十一人で、うち、投票したものが七千九百四十八人、投票しなかつた者が千六百七十七人です。この投票率は八一・四四%に達し、前年より三・二九%の上昇を示し、国・県

差別投票率表

順位	区番	投票率
1	10区	93.68%
2	1	91.53
3	5	91.30
4	9	90.85
5	8	88.33
6	2	87.71
7	28	86.61
8	13	85.19
9	23	84.64
10	6	84.43
11	12	83.53
12	3	82.07
13	16	82.01
14	7	79.94
15	25	79.41
16	11	79.38
17	15	79.17
18	19	79.02
19	20	78.97
20	17	77.86
21	26	77.61
22	27	76.56
23	4	76.24
24	21	73.49
25	24	71.56
26	14	70.65
27	22	70.64
28	18	65.31
	甘楽町	81.44

投票率の優秀区を表彰

七月一日に行なわれた参議院議員選挙の各区別投票率が、別表のようにまとまりました。

そこで、町選挙管理委員会と同公明選挙推進協議会では、特に優秀な投票率をあげた次の区

- 人を表彰し、今後の選挙における、棄権防止の手段とするにになりました。
- 人賞(賞金各五百円) 第八区、第二区、第二十八区、第十三区、第二十三区、第六区、第十二区、第三区、第十六区
- 地賞(賞金各千円) 第一区、第五区、第九区
- 天賞(賞金二千円) 第十区
- 努力賞(賞金五百円) 第十一区



福島保育園が移転

別天地、笹の森境内へ

園舎の建てられた場所は、神社境内の南東部の位置で、いちばん日当たりがよく、また、歩園舎をさげれば、広びろとした境内に古木うっそうとしげり、夏は、緑井沢に匹敵する涼感を満喫でき、園児教育の場として他に類例をみぬ好条件を備えています。

写真は完成した福島保育園

川は泣いている
廃液・汚物をすてないで



メツキ液、染色液、機械油などをやたらに流す、川魚や農作物に悪影響を与えます。必ず正規の手続きをし、他に危害を及ぼさぬよう、適当な処置をいたしましょう。

セキリが各地に続発

今年、多発の恐れあり...と医師はいう
5月から秋にかけては、伝染病の病キンがうれしがつてはびこります。これが、私たちにとつては、いちばん恐いことです。とくに、ことしは「赤痢が多発しそうだ」と、医師がいつています。みなさん、伝染病をふやしている「カ」や「ハエ」をなくすため、すぐに、次のことを実行しましょう。



- ① 水たまりは、全部土砂でうめる。
- ② 防火用水槽などには、魚を飼つたり、ときどき水をかえる。
- ③ 下水はたえず清溜して、流れをよくする。
- ④ あきかん・あきびんなどに、雨水がたまるぬようにする。
- ⑤ ハエをいなくするには
① ゴミはやたらに捨てないで、ふたのある入れ物に入れる。
- ② 便所の汲取口は完全なフタをし、窓には網を張る。
- ③ 空地や川にゴミをすてない。
- ④ 肥料だめ、畜舎などには網を張るか、薬剤をふきかける。

甘楽町で、36年度中に伝染病にかかった患者は8人です。うち、6人がセキリ・エキリ患者で、1人が亡くなりました。あとの2人は小児マヒです。

昨年8人が伝染病に
1人がエキリで死亡
伝染病患者が1人であると、町では1万円以上の経費がかかりますが、それ以上に家族たちは、精神的にもいやな思いをします。みなさん、伝染病にかからぬためにカ、ハエ、ゴキブリの退治と、手あらいを励行し食品衛生に注意しましょう。